



# 地域交流活動かわら版



## 地域活動で杏林生が活躍しました！



### 総合防災訓練にてBLS指導実施

11月4日（月）市立第二中学校にて、三鷹市総合防災訓練が行われました。自衛隊、警察、消防、医療機関、自治防災組織、第二中学校の生徒、本学学生など46団体、約1,200名が参加し、避難所体験、初期消火訓練等が実施されました。その中で、本学の保健学部救急救命学科の学生16名が、BLS(心肺蘇生法、AEDの取扱い)の指導を行い、地域の一員として普段の学びを生かした役割を担う様子が見られました。

### 防災訓練

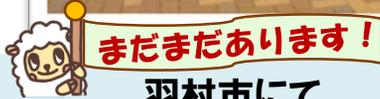


### 第28回市民駅伝大会にて救護を担当



11月24日（日）三鷹市内全域をコースとする駅伝大会が開催され、過去最多の207チームが参加し開催されました。また、今大会では、4～5歳児40名小学1～2年生46名を対象に、今回で4回目となるコニカミノルタの陸上部の監督・コーチによる「走りっこ教室」が地下サブアリーナで実施されました。

本大会には昨年に引き続き今回も、保健学部救急救命学科の学生と教員がボランティアとして参加しました。学生10名と教員5名が3カ所の中継所と大会本部の救護所及び「走りっこ教室」での応急救護を担当しました。大会は、大きな事故や怪我の発生もなく、参加者の安全確保が図られ、駅伝大会成功の一助となりました。



まだまだあります！

### 羽村市にて 学生企画講演会実施



12月7日(土)羽村市生涯学習センターゆとろぎにて、講演会が行われました。これは、外国語学部の古本泰之先生のゼミ生とゆとろぎとが連携して企画・運営を行ったもので、「1964年と2020年の東京オリンピック・パラリンピックの比較」と題し、前東京都オリンピック・パラリンピック準備局の鈴木隆広さんを招いてご講話いただきました。

### 三鷹市地域ケアネット合同事業 ポスターセッション

12月7日(土)三鷹ネットワーク大学にて「三鷹市地域ケアネットワーク合同事業」が開催されました。ポスターセッション形式で大学と地域の情報交換が行われ、本学からは総合政策学部の藤原究先生と斉藤崇先生のゼミ生が「Mitaka Kichijoji PROJECT」の活動について発表しました。



### 大学コンソーシアム八王子 学生発表会



12月7日(土)、8日(日)学園都市センターにて「第11回 大学コンソーシアム八王子 学生発表会」が開催されました。本学からは、総合政策学部より半田英俊先生、木暮健太郎先生、田中信弘先生のゼミ生が発表を行い、半田ゼミ「New style 防災」が見事市長に提案部門で奨励賞を受賞しました。

# 若い力で東北を盛り上げろ！！



## NPO法人wizを招いて特別授業を行いました

杏林大学は、岩手大学が取り組む「ふるさといわて創造プロジェクト」に参画し、参加校唯一の首都圏大学として岩手県や東北地方の活性化を目標に様々な活動を行っています。地域交流推進室の室長を務める観光交流文化学科 古本泰之先生の授業に、「IWATE実践型インターンシップ」を主催するNPO法人wizの八田浩希様をお招きし、特別講義を行いました。

11月15日(金)「観光地理学」の授業では、学生たちに「社員向け観光ツアーの企画立案」という課題が提示され、少人数に分かれてワークショップが行われました。短い時間の中でコンセプトとテーマをまとめる作業に苦戦しつつ、学生ならではの楽しい企画を考案することが出来ました。

### 古本泰之 地域交流推進室長より

本学は「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の参加校として、事業責任大学である岩手大学の「ふるさといわて創造プロジェクト」において、2015年度から継続的に活動を展開しています。その中でも、首都圏大学である本学が地方創生に貢献できるひとつの形として在籍生に「地方を知る機会」を提供することが重要であると考えており、岩手県内での地域インターンシップへの参加を促進しています。

今年度は、11月12日の外国語学部1年次科目「観光学入門」において、「IWATE実践型インターンシップ」を主催するNPO法人wizの関係者に、地域インターンシップについての詳細な説明をお願いしました。また、11月15日の外国語学部2年次以上対象科目「観光地理学」では、インターンシップの説明に加え、wizの八田浩希氏による地域課題解決ワークショップを行い、地方創生についての理解を深めました。

説明を受けた学生達からは「多くの知らないことを経験、体験できる点でとても良い機会だと思う。」「説明を受けてインターンシップに興味を持った。」などの前向きなコメントが寄せられており、地域インターンシップへの参加につながることを期待しています。

### NPO法人wiz 八田様



岩手を  
選択肢に！

### 学生考案の企画の数々

テーマ	コンセプト
大交流ザブ	社員が1グループで大交流の商店街を回って仕事を体験、発表する回
鮮生まる大交流	提供している朝ごはんの人のつながり
いい旅！海気分 in Ohfunato	リラクスしてらう
大交流を創ろう。クルーズツアー	実際にクルーズ体験、貸し出し用レインコートか、ライフジャケットとかがつなげる
	チラシに詳しい仕事があっても、宿の人たちも知らない企業があると悪く思われる
	社人夫で体験できるツアー
	リアス海岸の魅力を再発見、忙しい日頃ストレス溜まるんじゃないか
	地元の人にとって海は生活の傍らで観光者目線で楽しんでもらいたい



熱心に聞き入る学生達

## 「ふるさといわて創造プロジェクト」(COC+) 「ふるさと発見！大交流会 in IWATE 2019」に参加しました



### 杏林大学展示ブース

多くの学生で賑わう会場

11月23日(土)に行われた「ふるさと発見！大交流会 in IWATE 2019」では、ブースの出展や学生交流を通じて、岩手県を支える魅力的な人材の育成についてPR活動を展開しました。

3回目の開催となる今回は、120以上の団体が出展し、それぞれの社会的意義や特徴的な取組の展示発表を通じて、参加した若者たちに魅力ある生き方や働き先を考える機会を提供していきました。本学のブースでは、所属学部での学びを活かした地域活動、また、岩手県を舞台としたフィールドスタディが科目提供されていること、地域課題への認識を深めることの重要性の理解など、「東京にいながら岩手について学び」、その学びを地域に還元できるような教育が提供されていることを紹介しました。ブースを訪れてくれた高校生の中には「進学先として視野に入れたい」といった感想も寄せられ、岩手県内で大学の認知度をさらに広げるための良い機会にもなると感じました。

2020年度「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」受講生の募集が来年2月より始まります！詳しくは右のQRコードからHPにて！

